

平成16年度事業（案）の検討について

平成15年5月14日
実行委員会事務局

記念事業の基本スケジュール(案)

- ・実施期間 平成16年4月～12月
- ・実行委員会主催事業について
秋田市事業や民間行事との連鎖性および相乗効果を期待するとともに、気候面や誘客面、市民参加促進等を考慮し、7月から9月までの3ヶ月間を記念事業のピーク期間と位置づけ、各種イベントを実施する。
また、ピークの前後(4月～6月および10月～12月)にも、基本理念「歴史を想い、今日を祝い、未来へ遺す」に基づく各種事業を位置づけ、盛り上がりを創出する。

建都400年を契機とした長期的取り組みについて(案)

建都400年を迎える平成16年は、実行委員会や行政、民間の各団体が相互に協力しながら、基本理念に基づくさまざまな記念事業を企画・運営する一方、一過性ではない長期的な取り組みについても検討・着手する好機であると捉えている。

以上のことから、下記に掲げる項目についても、実行委員会や行政または民間等が建都400年を契機に検討する事項として整理したものである。

- 1．まちづくりに関する提案
 - (1) 千秋公園整備計画の一般公開の促進およびプログラム化
 - (2) 街並み保存と活性化の推進
(例：寺町・川反・新屋等の再調査や天徳寺を起点とした佐竹太平街道等)
- 2．文化・人づくり等に関する提案
 - (1) 収蔵機能を備えた施設整備の検討
(秋田市または市民の所有する文化遺産のインデックス機能をもった機関)
 - (2) 常陸太田市・常陸有縁町村との交流事業の促進
 - (3) 伝統工芸品の歴史・工房・作品の整理
 - (4) 秋田の先人の顕彰と今後の人づくりにつながるイベント開催
 - (5) 市内大学における「秋田学」講座や「郷土学」講座の設置
 - (6) 東海林太郎に関する資料収集や展示
- 3．雇用と産業につながる提案(将来を見据えた産業振興に関する提案)
 - (1) 農業特区に向けた検討 - 都市再生に向けた環境対策と雇用対策について -
 - (2) 食糧の自給(地産地消)と食の安全に関する取り組み